

◆ 各区だより ◆

名東区

めがねつり

「名東区文化部 活動だより」



至るまでの「めがね歴史館」の文化に触れ、初夏の一日研修を仲間と楽しく終えました。

9月「高齢者福祉大会」。179名で湯あみの島にて区社会福祉協議会の講話を受けた後、仲間の美声と踊りを堪能、温泉で英気を養いました。

11月「趣味の作品展」。絵画、工芸、手芸、書、写

文化部では、できるだけ多数の会員で企画実施すること、多くの参加者を集めることを願って活動をしていきます。最近実施した行事をご紹介します。

昨年3月「世界文化遺産姫路城と淡路洲本の旅」。年に一度の泊旅行で109名が集まり、平成の大修繕を終えた日本の城郭建築を代表する史跡を見学後、淡路鳴門から

洲本のホテルで夜の宴会と移り、美声の盛り上げで大いに懇親ができました。
6月「福祉大学校研修旅行越前永平寺の旅」。178名の参加で座禅道場の幽谷に浸り七堂伽藍を参詣しました。道中、江戸時代から今日に



真など幅広い領域の221名による力作348点を3日間区役所講堂に展示、多数の来場者に鑑賞していただきました。会場の一角では会員同士でお茶を飲みつつ作品作りの苦労話などを語りました。展示場所にまだ少し余裕があるので、次回はたくさんのお出品者の応募をお待ちしています。

会員の方が年に一回でも、何か行事に参加され元気なお顔を見たいと願いつつ会員数の増加を目指して、今後も活動を続けていきたいと考えております。
(赤井 直彦)

天白区

びいてんぱく

「からだ動くとき 心もくらく」

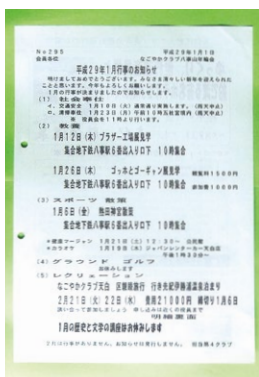


表山学区八事山年輪会は、7クラブの連合会で380数名、この10数年来最高の会員数で構成されており、毎月第4月曜日にクラブ合同の役員23名で会議を実施しています。

この役員の中に教養、スポーツ散策、グラウンド・ゴルフ、レクリエーションなどの係分担があり、この係でグラウンド・ゴルフ、交通指導など定例行事を除いて、翌月の行事の相談をし、役員会に提案するようにしています。

各係が提案した行事は、見学会あり散策あり音楽鑑賞あり日帰り旅行あり内容が多岐面に及び、実に豊富です。

役員会終了後、ただちに月報のお知らせを作成し、各単位クラブ役員が全員に配布します。



お知らせには、区の行事を含め、月3・4回の行事を紹介し、会員は希望の行事に参加できます。中日新聞社、市防災センター、ブラザーの展示館、ゴッホ展などの見

学、宗次ホールでのランチタイム・音楽鑑賞も実施し、見学後の食事はよき語らいの場になります。一つの行事の参加者は、毎回30〜40名あり、「小学校の遠足以来の楽しさであった」「年輪会は一人ではできないことをやってくれてありがたい」「今日一日楽しく過ごせてよかった」などの声が聞かれます。

その他サロン活動も3箇所を実施し、その一つでは参加者が提唱、まとめ役になって「歌を歌いましょう」と月1回歌う会を実施するようになりました。

今年1月には、小学校に昔の道具を持って行き、子供たちに昔の生活の体験をしてみたい、話をしました。
(安江 春彦)